



古居 俊彦

災害時の避難所対応は！？

答 災害発生により市が開設するが、自主避難については、市役所・消防本部へ相談



市長 基本的に食べ物等は各自でご用意いただきますが、避難所での生活を余儀なくされた場合には、備蓄物資を提供します。備蓄物資は、飲料水や主食のほか、野菜シチューなどを備蓄しています。また、避難生活を行う上で、必要不可欠と考えられる毛布、紙おむつ、生理用品などの生活必需品も備蓄を進めています。

問 避難所のライフライン確保の状況は。

市長 いち早く開設される「一時避難所」は23施設、一時避難所のみでは受け入れができない場合や地震・風水害で大きな被害があった場合に、被災した方が一時、避難生活をする「拠点避難所」として21施設、一時避難所と拠点避難所のみでは受け入れができないなど、状況に応じて開設する「その他避難所」は、53施設を指定しています。本市で最も大きな被害が想定される、南海トラフ巨大地震が発生した場合、避難所への最大避難者数は5646人とされています。

問 避難所は、何箇所くらい用意しているのか。

市長 「一時避難所」は23施設、一時避難所のみでは受け入れができない場合や地震・風水害で大きな被害があった場合に、被災した方が一時、避難生活をする「拠点避難所」として21施設、一時避難所と拠点避難所のみでは受け入れができないなど、状況に応じて開設する「その他避難所」は、53施設を指定しています。

問 ペット同伴での避難は可能か。

危機管理監 災害時のペットの扱いについては、「同行避難」となり、避難所と一緒に過ごすことは難しく、ペットと人間は生活スペースを分けて、ケージや柵で囲った専用スペースを用意します。避難先の避難所がペット不可の場合もあります。

おわりに

災害の発生とともに避難所は開設されるが、もしも大災害が発生した場合、決して「公助」だけでは対応できず、長期化した場合、二次避難所、福祉避難所など、さまざまな形態で避難所が開設されるので、そのような計画・訓練についても、シミュレーションしてほしい。市民の皆さまにおいても、日頃から非常持ち出し品の用意や非常食などの準備を行い、災害に備えておく必要がある。



東日本大震災の一時避難所の様子



平川 博之

認知症の人との共生社会促進を！

答 福祉施策の理念である「一人ひとりが自分らしく輝き、共に生きるまち・えたじま」を目指す



福祉保健部長 認知症の早期発見をするための「物忘れ相談プログラム」という専用機器がありますが、導入できていません。今後、本市でも導入について検討します。

問 認知症検診の実施状況は。

福祉保健部長 認知症またその疑いのある方は、1月末で1116人です。

問 本市の認知症患者数は。

市長 皆さまへの認知症の理解を深めるために、「ふれあいサロン」や「通いの場」での出前講座、「認知症初期集中支援チーム」による相談会、講演会や映画上映などを実施しています。また、誰もが参加でき、認知症について気軽に話をしたり、知ることのできる認知症カフェを開催し、相談や支援も行っています。

問 認知症の人に対する正しい知識や理解を深める施策にはどのようなものがあるか。

市長 皆さまへの認知症の理解を深めるために、「ふれあいサロン」や「通いの場」での出前講座、「認知症初期集中支援チーム」による相談会、講演会や映画上映などを実施しています。また、誰もが参加でき、認知症について気軽に話をしたり、知ることのできる認知症カフェを開催し、相談や支援も行っています。



認知症サポーター

問 認知症対策は大変難しい課題です。今後「一人ひとりが自分らしく輝き共に生きるまち・えたじま」を目指し努力します。

市長 本市の取り組みとしては、「認知症サポーター制度」や江田島警察署と連携した、「認知症高齢者等の支援に係る相互連携協定」があります。認知症サポーターとは、認知症の方や家族の方を温かく見守る支援者のことで、サポーター養成講座を実施し、これまで1284人の方が講座を受講し、見守りの体制を整えつつあります。

問 認知症の人が、安心して他の人々と暮らすことができる安全な地域づくりへの取り組みは。

市長 皆さまへの認知症の理解を深めるために、「ふれあいサロン」や「通いの場」での出前講座、「認知症初期集中支援チーム」による相談会、講演会や映画上映などを実施しています。また、誰もが参加でき、認知症について気軽に話をしたり、知ることのできる認知症カフェを開催し、相談や支援も行っています。



市の考えを問う

一般質問

QRコードを読み取ると録画映像が視聴できます。

質問者 8人

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 1 岡野 数正 | 重点項目「しごとの創出」の中で特産品販売所の開設とは！ |
| 2 古居 俊彦 | 災害時の避難所対応は！？ |
| 3 平川 博之 | 認知症の人との共生社会促進を！ |
| 4 長坂 実子 | 児童発達支援センターの設置を！ |
| 5 平本 美幸 | 地域建設業の振興や発展のさらなる支援を！ |
| 6 美濃 英俊 | 「協働のまちづくり」を明確に！ |
| 7 筧本 語 | 江田島市公園等管理活用計画の進捗状況は！？ |
| 8 上本 雄一郎 | 「里海教育」の推進により個性ある島人の育成を！ |



岡野 数正

重点項目「しごとの創出」の中で特産品販売所の開設とは！

答 JAひろしま江田島アグリセンター（飛渡瀬）の施設を利用し開設



産業部長 市は、特産物販

問 採算性や赤字補填について市の支援はあるのか。

産業部長 条件については、これからJAひろしまと協定を締結する予定です。事業計画および事業費については、令和6年度当初予算に、観光協会の事務所機能の移転と、特産物販売のための内装の設備変更を中心とした費用を要求しています。

問 この施設の利用条件、事業計画および事業費などはどうか。

市長 この施設は、運営を江田島市観光協会が担い、JAや市商工会などの関係団体と連携して、特産品や農産物などの物販機能を充実させるとともに、情報発信など、新たな観光拠点の場として活用します。

問 令和6年度の重点項目の中に、地域特産品販売所の開設とあるがどのように考えているのか。



陀峯山林野火災

消防長 ソフト面については、現在の取り組みの効果を確認しながら、このエリア特有の気象条件等を加味し、いち早い定例的な警戒巡視体制を構築します。また、ハード面については、ご指摘のとおり、林道の途中に防火水槽などがあれば、迅速な消火につながります。効果的な水利施設の充実はかかれるよう検討します。

問 出火防止対策の取り組みとして、ソフト面、ハード面の提案をしたい。ソフト面では、陀峯エリアを特別警戒区域に指定し、気象条件を勘案しながら時期・時間等を絞り込んだ上で定期的な警戒巡視体制を構築する。ハード面では、深江側からの林道周辺に防火水槽を整備してはどうか。

陀峯山 林野火災対策

売所単独での採算性を判断した赤字補填を行うのではなく、各団体が行う事業を通じて運営を支援します。